

National
Parks
of Japan



資料 4



環境省

国立公園の魅力向上に向けた取組

2024年7月19日

環境省

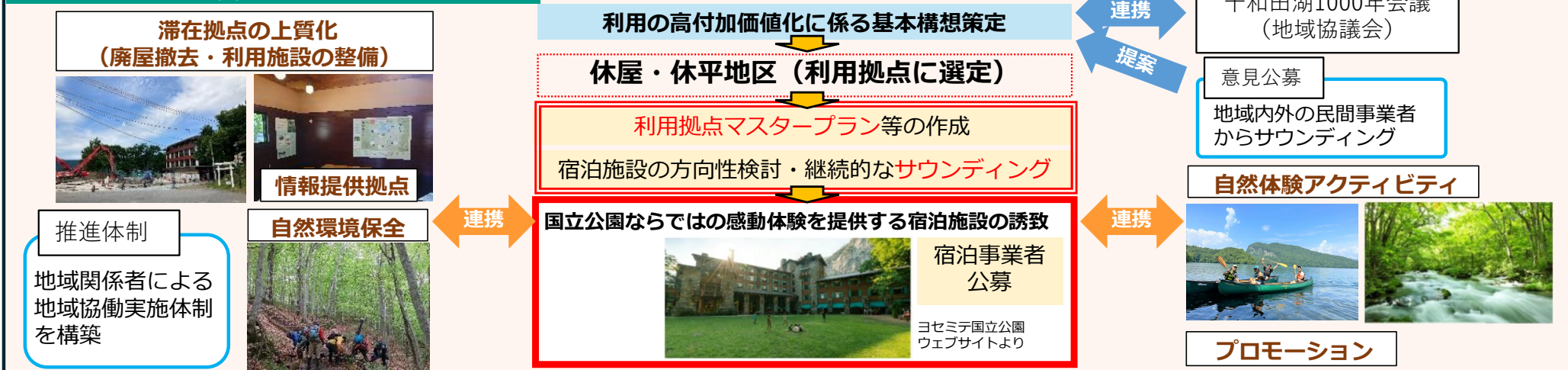
国立公園における滞在体験の魅力向上事業の展開

- 国立公園の美しい自然の中での感動体験を柱とした滞在型・高付加価値観光の推進を図るため、民間活用により滞在体験の面的な魅力向上に取り組む「先端モデル事業」を4公園で実施。

先端モデル事業（十和田八幡平、中部山岳、大山隠岐、やんばる）

十和田八幡平国立公園休屋・休平地区における取組（イメージ図）

民間の発想を活かした滞在体験の魅力向上をパッケージで実施



得られた知見を活用

更なる展開事業（全国各地）

- 全国の国立公園（全35公園）において、地域の理解を得つつ、民間事業者の意向を把握し、各公園の特性に合わせて取組内容を調整した上で、民間活用による魅力向上の取組を展開。
 - 順次、地方公共団体や民間事業者において滞在体験の魅力向上の取組に関心のある地域から、地域説明会やサウンディング調査をすみやかに実施。
 - 並行して、学識経験者や民間事業者の意見を踏まえながら、全国展開に係るスキームや実施主体（民間事業者等）への協力・支援等の内容を検討。



国立公園制度100周年となる2031年までに、全ての国立公園で民間活用による魅力向上事業を実施

国立公園におけるオーバーツーリズム対策（富士山）

- 富士山については、「富士山における適正利用推進協議会」において、「富士登山におけるオーバーツーリズム対策パッケージ」をとりまとめ（令和6年3月28日）
- 協議会構成機関・団体が一体となった取組が開始された（次ページ参照）。
- 今後、5年間で集中的に取組を行い、満足度の高い、快適な利用環境を実現し、オーバーツーリズムの解消を目指す。

富士登山オーバーツーリズムの課題と対策（2024シーズン）

I 混雑の偏りによる利用者満足度の低下

混雑の偏りの解消

- 情報発信
→各主体のHP等で情報発信により、登山者の自発的混雑回避を促進
- 山梨県条例による取組（吉田ルート）
→ゲートを設置し、時間帯（16時～翌3時）又は上限人数（4,000人）により通行禁止措置
→通行料2,000円/人を徴収
- web事前登録システムの社会実験（須走、御殿場及び富士宮ルート）
→登山情報の事前登録等の社会実験を実施
- 富士山麓への誘客促進
→山麓の登山道やロングトレイルの魅力発信・向上、見る楽しむ利用の提案
- 老朽化施設等の改善及び快適性の向上
- 利用適正化に関する法的枠組み活用の検討
→自然公園法を始めとする規制等の勉強会を開始

II 危険にもなり得る弾丸登山等を行うことによる周囲への迷惑

弾丸登山等の抑制

- 情報発信
→各主体のHP等で弾丸登山等の危険性を発信し、登山者の自発的抑制を促進
- 山梨県条例による取組（吉田ルート）
→安全誘導員やガイド等に指導権限を付与し、注意喚起を実施
- 現地における弾丸登山の自粛要請（須走、御殿場及び富士宮ルート）
→シャトルバス乗換駐車場等に係員を配置し、16時以降、宿泊予約のない方へ登山自粛を呼び掛け
- 八合目救護所設置期間の延長・拡充

III ルール・マナー違反による周囲への迷惑

ルール・マナー違反の抑制

- 情報発信
→各主体のHPやチラシ等で富士登山におけるルール・マナーを分かりやすく発信し、登山者の行動変容を促進
- マナー等に関する事前学習（須走、御殿場及び富士宮ルート）
→マナー等の事前学習機能を備えたweb登録システムの社会実験を実施
- トイレでの啓発
→禁止事項を多言語やピクトグラムで表示
- ゴミのポイ捨て・発生抑制
→ポイ捨ての実態調査やゴミ発生状況の調査

フォローアップ

R6.3.28協議会

R6秋頃 協議会

R7.3 協議会

以降、R11まで
PDCAサイクルで
対策を改善

パッケージの
決定

▶ 対策の実施

▶ 対策の報告・
評価

▶ R7シーズンの
対策の決定

【参考】富士山における適正利用推進協議会

構成機関 文化庁、林野庁、国土交通省（地方整備局、運輸局）、環境省、防衛省、山梨県、静岡県、関係市町村地域関係団体等（神社、観光協会、登山組合、山岳連盟、富士急行株式会社、道路公社等）
（事務局）環境省、山梨県、静岡県

国立公園におけるオーバーツーリズム対策（富士山）

R6.7.1～ 吉田ルート（山梨県側登山道）

■ゲート設置、上限人数（4,000人）と時間帯（16～翌3時）規制、通行料（2,000円）徴収



通行料徴収受付の様子



ゲートでのリストバンド確認

ゲート許可件数

■開山後1週間(7/1～7)の状況

日付	合計	事前	当日
7月1日 月	1,723	1,129	594
7月2日 火	1,554	897	657
7月3日 水	1,561	940	621
7月4日 木	2,005	1,306	699
7月5日 金	2,099	1,353	746
7月6日 土	2,324	1,462	862
7月7日 日	1,951	1,067	884
週間合計	13,217	8,154	5,063

■開山後累計（7/1～15）
28,245人

R6.7.10～ 須走、御殿場及び富士宮ルート（静岡県側登山道）

■web事前登録、16時以降の登山自粛

登山開始

静岡県のweb事前登録は、
38,361人（7/17・9時時点）



WEB事前登録者の確認



未登録者の現地学習状況

※山梨県側は、ルート（県有地）に入山規制（県条例：上限人数の設定と通行料徴収）を実施
※静岡県側は、ルートの大半が国有地であり、入山規制を行うためには国有地を含めて適用することが必要

富士山麓への誘客促進



富士山を正面に望む田貫湖に再整備した富岳テラス（令和6年4月供用開始）

情報発信



JNTO、出入国在留管理庁、外国人技能実習機構のホームページにて、外国人向け情報発信

混雑の偏りの解消

- ・R6.7.7までの登山者数は**10,820人** 前年度比**102%**と同等数※
- ・弾丸登山者による夜間の登山者は減少
- ※吉田ルート八合目（太子館）設置登山者カウンター数値より（2024/7/1～7）
- ※ゲート許可件数とは数値が異なる

弾丸登山等の抑制

- ・過年度までは、週末の22時以降多くの弾丸登山者がベンチや山小屋前に座り休憩
- ・今年は、規制の効果により、ベンチで休憩する登山者は減少。



昨年：2023/7/15（土）
山小屋前ベンチには、弾丸登山者が多数



今年：2024/7/6（土）
山小屋前ベンチ 写真提供：太子館

ルール・マナー違反の抑制

- ・山梨県条例による富士登山適正化指導員委嘱**約300人**。
- ・登山のルール・マナーの周知を強化。

